

家畜衛生便り

No.376

令和4年4月27日

徳島県家畜防疫衛生センター

○西部家畜保健衛生所 吉野川庁舎
徳島県吉野川市鴨島町麻植塚

TEL. 0883-24-2029 FAX. 0883-24-1397

○西部家畜保健衛生所 東みよし庁舎
三好郡東みよし町中庄

TEL. 0883-82-2397 FAX. 0883-82-4843

ごあいさつ

所長 小倉 朋和

日頃より、畜産農家の皆様また関係者の皆様におかれましては、家畜保健衛生業務の推進に、ご理解とご協力を頂き、厚く御礼を申し上げます。この度の定期異動により経験豊富なメンバーも加わり、新体制でスタートを切りました。御用件や農場にお邪魔した際には、ご遠慮なくお声かけくださいませ。

さて、新型コロナについては、変異株による感染者の増減があるものの、ワクチン接種率の向上もあって、症状が軽減化されています。しかし、停滞した経済は、なかなか回復の兆候が見えず、更に円安やロシアによるウクライナ侵攻が追い打ちをかけ、輸入資源に頼る日本の経済に大きな打撃を与えています。畜産においても飼料や肥料などの生産資材、燃料、輸送コストが高騰し経営を圧迫しています。畜産物は、簡単に生産調整ができず、また仕入れ価格の上昇分を容易には価格転嫁もできず、経営は非常に厳しくなっています。

家畜保健衛生所では、畜産経営の改善、畜産振興に少しでも貢献できるよう飼養環境改善指導、ワクチン接種による疾病予防、様々な検査による原因究明などの衛生対策、家畜診療による損耗防止、受精卵移植などを通じて生産性と付加価値の向上に取り組んでいます。

昨年度も日本各地で家畜伝染病が発生し、甚大な被害をもたらしました。高病原性鳥インフルエンザは、隣の愛媛県でも初めて発生、全国で23例、約189万羽が殺処分。豚熱は2018年から現在まで80例、約29万頭が殺処分されてます。2021年7月31日には、淡路島の野生イノシシに豚熱の感染が確認され、8月6日、四国4県がワクチン接種推奨地域に指定されました。現在、知事認定獣医師と連携しながら、ワクチン接種に努めています。このように国境を越えて侵入する「越境性動物疾病」が毎年のように発生し、予断を許さない状況が続いています。これまでも「発生させない。持ち込ませない。」を合い言葉に飼養衛生管理の徹底をお願いしておりますが、畜産農家の皆様また関係者の皆様におかれましては、農場に病原体を侵入させないように飼養衛生管理基準の遵守について、なお一層のご理解とご協力を頂きますようよろしくお願いいたします。

令和4年度 西部家畜保健衛生所 職員

所 長 小倉 朋和
次 長 笠原 猛 (畜産研究課から転入)
次 長 笠井 裕明 [美馬・三好担当]

衛生防疫第一担当 【吉野川庁舎】

課長補佐 (リーダー)	山田 みちる (畜産振興課から転入)
主査兼係長	中尾 希美子
係 長	山本 由美子
主 任	岩田 裕美
主 任	松英 百合子
主 任	市川 正史 (徳島家保から転入)
主 事	吉田 裕紀
主 事	小原 彩子
会計年度任用職員 (獣医師)	井内 民師
会計年度任用職員 (獣医師)	鴻野 文男
会計年度任用職員 (獣医師)	松尾 功治
会計年度任用職員 (補 助)	田村 幸子

衛生防疫第二担当 【東みよし庁舎】

係 長 (リーダー)	尾川 誠次郎
係 長	丸谷 永一 (畜産振興課から転入)
主 任	森川 かほり (吉野川庁舎から転入)
主 任	竹元 一軌
会計年度任用職員 (獣医師)	色原 豊彦
会計年度任用職員 (獣医師)	大谷 長治
会計年度任用職員	増居 奏美
会計年度任用職員 (補 助)	浜田 るり子

〈転出者・転出先〉

井口 陽香	徳島家保 主任
松尾 功治	退職
出口 達也	退職
南田 枝理子	退職
増井 ちな美	退職

伝染病予防のため、適切な飼養衛生管理を実施してください

1. 異常家畜の早期発見，早期通報をお願いします。

日常の健康観察を徹底し，家畜伝染病を疑う症状を呈している家畜を発見したときは，**直ちに通報**してください。

＜連絡先＞西部家畜保健衛生所

吉野川庁舎 0883-24-2029

東みよし庁舎 0883-82-2397

家畜保健衛生所は，休日・夜間も24時間対応しております。

2. 農場出入口・周辺の消毒の徹底に努めてください。

3. 中国など発生国への不要不急の旅行は自粛してください。

4. 農場に出入りする人・車両の記録をお願いします。

5. 衛生管理区域内に野生動物が侵入しないよう，境界に柵等を設置してください。

6. 家畜の死体を保管する場合には保管庫等を設置し，野生動物の侵入を防止してください。

7. 当所からの広報等，情報の収集に努めてください。

「飼養衛生管理基準」を遵守して、
家畜を病気から守りましょう！

ゴールデンウィークにおける 防疫対策の徹底について

○不要不急の海外渡航は自粛してください

○衛生管理区域及び畜舎内への
病原体持込み防止の徹底

(1) 専用の手袋・靴の着用、
手指の消毒、物品の消毒

(2) 野生動物の侵入防止対策として、
防護柵、防鳥ネットの設置と
定期的な点検及び修繕

畜舎周囲・農場外縁部の石灰散布



- ・ 畜舎周囲と農場外縁部（出入口の外周を含む）は2m以上の幅で地面が白く覆われるよう定期的に石灰を散布する。
- ・ 散布量の目安は、1㎡当たり0.5～1.0kg（2m幅の場合、1袋で約15㎡）。
- ・ 繰り返し雨や水に濡れてしまうと、消毒効果がなくなる。
- ・ 消石灰は強アルカリ性のため、マスク・手袋を着用して散布する。
- ・ 併せて、殺鼠剤及び殺虫剤の散布によるネズミ、昆虫等の駆除を行う。